

## 研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 医療統計学研究室

### 記

研究の名称	アルコール依存症者の満たされない医療ニーズ解明と地域でのスクリーニングの検討【量的研究】
対象	2005 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの期間にアルコール依存症と関連疾患と診断された患者さんの JMDC データベース、および DeSC ヘルスケア株式会社が保有する DeSC データベースに、2014 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の期間中に在籍する加入者データを研究に利用いたします。JMDC データベースは、複数の健康保険組合から収集された医療データです。2005 年から収集され、全体の登録人数は 1700 万人です。本研究では、150,000 例と予想しています。また、DeSC データベースは、健康保険組合に加えて、国民健康保険や後期高齢者医療制度も加味された、約 1500 万人の医療データです。本研究では、140,000 例を予想しています。
研究期間	研究実施許可日（2025 年 2 月 21 日） ～ 2029 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：アルコール依存症の早期発見と早期治療を目指します。 利用方法：すでに取得された医療データを利用して、アルコール依存症の実態を明らかにします。個人を特定する情報は削除した上でデータを使用します。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。 利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日（2025 年 2 月 21 日）
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	情報：診断指標（診断名、ICD-10 コード等）、健診データ（飲酒習慣などの問診データ、血液データ等）

<p><b>利益相反について</b></p>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<p><b>研究者名</b></p> <p>【研究責任（代表）者】</p> <p>大阪医科薬科大学 医療統計学研究室          特別職務担当教員（教授） 伊藤 ゆり</p>	
<p><b>参加拒否の申し出について</b></p> <p>本研究の対象者に該当する可能性のある方で研究への参加を希望されない場合、又は研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ窓口にお問い合わせください。</p>	
<p><b>問い合わせ窓口</b></p> <p>〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号</p> <p>大阪医科薬科大学 医療統計学研究室</p> <p>担当者          中野 慶子</p> <p>連絡先          072-683-1221（代）          内線 3954</p>	